

令和元年度事業評価委員会意見・提案

公益財団法人静岡県生活衛生営業指導センター

事業評価委員会

- ・開催日 令和元年 10 月 17 日（木）午後 1 時 30 分から 3 時 30 分
- ・場 所 静岡生衛会館（静岡市）
- ・委 員 5 名（大坪会長、増田委員、坪内委員、平松委員、岡田委員、
 寫本委員）
- ・オブザーバー 静岡県健康福祉部生活衛生局 森衛生課長

令和元年度事業の取組み等への意見や提案（要旨）

令和元年度センター各事業計画、平成 30 年度事業実績等指導センター事業全般の報告ののち、今回は、生活衛生関係営業衛生確保等指導事業の 3 事業について、特に意見、提案等を伺った。

生活衛生関係営業衛生確保等指導事業について

（1）景気動向等調査事業について

Q アンケートの調査結果は公表されているのか。調査先へは結果を教えているのか。

A 経営状況調査については、調査先へ「調査報告書」として配布し、HPでも全国センターのHPにリンクした形で公開している。景気動向調査については、「報告書」にまとめられ、調査先へ送付している。

- ・調査結果を経営相談に利用できれば良いと思う。
- ・インセンティブを考える必要がある。報告を受けた方も何をして良いのかわからないので、経営がずれているとか、改革が遅れているとか説明があれば良い。一種の人間ドッグのようなものになれば良い。
- ・静岡県独自の好事例をピックアップしてホームページ等に載せると良いか。

（2）標準営業約款登録事業について

- ・静岡県は、何でも 2 位が多い。
- ・加入率は結構低いと思う。登録するメリットがわからないと増えていかない。もっと、メリットを勧める必要がある。

- ・ふるさと納税でSマークのお店で使えるサービス品？とかはできないのか。消費税の減税もSマーク店はもう少し割引があるとかになっていれば違うと思う。厚生労働省の認可、法律に基づいているものであり、国の力強いバックアップも欲しい。
- ・Sマークも学生に新しいデザインを作らせるとか。Sマークコンテストを開催するとか、Sマークのお店をレポートしてテレビで放送してもらおうとか売り込んで工夫する必要がある。

(3) 分野調整事業について

- ・民泊の問題があったが、何もなかった。話題はあったが問題の提供がない。
- ・東京は賑やかと聞く。長逗留するには民泊がいいとか。近所迷惑な話は聞く。
- ・市町村が土地を開発し大きなホテルを建て、観光に力を入れる。ホテル業界側からは民営圧迫に感じているのでは。市・行政は人を呼びたい。意見が分かれるのではないか。
- ・三島市の場合は、ホテルの稼働率が高く泊まれない状況、ホテルは不足している。環境団体は反対しているが、商業ベースでは歓迎している。
- ・観光は、オリンピックの後難しい問題となる。人が来なくなる。働く人がいない。熱海（静岡県）と湯河原（神奈川県）では、最低賃金が100円違う。サービス・旅館・飲食店は、賃金が低い。最低賃金では、人は集まらない。
- ・サービス業小売業に従事する人がいない。10年先には人がいない。人の取合いになる。消費者が強くなって、働く人も強くなって経営者は大変になる。
- ・コンビニでも外国人従業員が多くなり、外国人が多くなると廃業するコンビニがある。人手不足。働く人がいなくなる。
- ・どうするかを情報提供していく。例えば、働く人が少なくなると衛生問題が手抜きになると思うから、少ない人数で衛生状態を上げていくにはどうすれば良いとか。日本の食品衛生水準は外国よりも高い。国際化していくと色々な問題がある。

(4) その他（主に飲食店営業）

- ・衛生水準が高いのは大したことだと思う。万一のことがあったら大変だから保険に入ってもらおう。例えば、みんなのために安心して暮らせるように火災保険や自動車保険のように皆入る。
- ・食品賠償保険については、県としても重要な問題である。保険は義務で

はないが事業者には自分を守るために入ると、講習会のたびに話をしている。

- 衛生の確保では、食品衛生法がだいぶ変わり HACCP の制度化など全国を上げてやっている。